

## 沖縄県立八重山病院医療用カーテン等賃貸借契約書（案）

（「沖縄県長期継続契約を締結することができる契約を定める条例」に基づく契約）

沖縄県立八重山病院 院長 和氣 亨（以下「甲」という。）と、〇〇〇〇（以下「乙」という。）とは、沖縄県長期継続契約を締結することができる契約を定める条例に基づき、次のとおり締結する。

### （目的）

第1条 沖縄県立八重山病院医療用カーテン等賃貸借契約（以下「本契約」という。）は、乙の所有物である別表記載のカーテン等（以下、「物件」という。）を甲に賃貸し、甲はその対価として乙に賃貸借料金を支払う。

### （契約の履行）

第2条 乙は、別添の仕様書及び甲の指示に従い、この契約を誠実かつ確実に履行しなければならない。

### （賃貸借期間）

第3条 本契約による賃貸借契約期間は、令和5年〇〇月〇〇日から令和6年〇〇月〇〇日までとする。

### （賃貸借料金）

第4条 本契約に基づく賃貸借料金は総額\_\_\_\_\_円（うち取引に係る消費税額円）とし、毎月支払いの額は別紙の通りとする。

（注）「取引に係る消費税」は消費税法第28条第1項及び第29条の規定並びに地方税法第72条の82及び第72条の83の規定に基づき算出したもので、委託代金に110分の10を乗じて得た金額である。

- 2 乙は賃貸借料金の支払いを受けるため、賃貸借契約開始以降、毎月10日までに適正な請求書を甲に提出するものとする。
- 3 甲は、請求書を受理したときは、30日以内に乙の指定銀行口座へ振り込むものとする。

### （契約保証金）

第5条 乙は、契約保証金として前条に定める賃貸借料の100分の10を乗じて得た額（長期継続契約に係る入札にあっては、当該契約金額を契約期間の月数で除して得た額に12を乗じて得た額）を付しなければならない。（沖縄県財務規則第101条第2項のいずれかの号に該当する場合は免除）

#### (補修範囲)

第6条 物件の洗濯及び補修は、次のとおりとする。

(1) 乙は、以下の頻度により物件のクリーニングを実施する。

ア 上部メッシュカーテン：6ヶ月に1回

イ 窓用カーテン：12ヶ月に1回

ウ シャワーカーテン：12ヶ月に1回

(2) 乙はクリーニング期間中、代替カーテンを用意し、取付けを行う。

(3) 乙はクリーニングの際に、穴やほつれ等の補修作業を行う

(4) クリーニングの日程や工程は、甲乙協議のうえ決定する。

(5) 前号に掲げるクリーニング以外の洗濯や補修は、原則として甲の負担とする。

#### (物件の返還等)

第7条 甲は、この契約が終了したときは、この物件を通常の損耗を除き、原状に回復して返還するものとする。ただし、乙が認めた場合は、現状のままで返還できるものとする。

2 乙は、この契約が終了したときは、速やかにこの物件を撤去するものとし、これに要する費用は乙の負担とする。

3 乙は、前項の撤去に際して必要があるときは、甲の職員として立会い、指示その他の方法により、乙の履行状況を監督させることができる。

4 甲は、乙が正当な理由なく、相当期間内にこの物件を撤去せず、又は借入場所の原状回復を行わないときは、乙に代わってこの物件を処分し、又は借入場所の原状回復を行うことができる。この場合においては、乙は、甲の処分又は原状回復について異議を申し出ることができず、また、甲の処分又は原状回復に要した費用を負担しなければならない。

#### (契約の継続)

第8条 賃貸借契約期間中、盗難、火災、風水害、地震、その他甲乙双方の責に帰さない事由により生じた物件の滅失毀損その他一切の損失は、次の各号に基づき乙の負担とする。

(1) 物件の全部に、損失が生じ、その修復が不可能なときは、乙は直ちに物件の取り付けを行い、乙はその費用を負担し、本契約を継続する事ができるものとする。

(2) 物件の滅失、毀損した部分についてその修復が可能なときは、直ちに乙は物件の修復を行い、乙はその費用を負担し、本契約を継続する事ができるものとする。

#### (物件の使用制限)

第9条 甲は事前に書面による乙の承諾を得た場合のほか、次の行為をすることができな

いものとする。

- (1) 物件を本来の用法に反して使用、又は本来の業務範囲を超えて使用すること。
- (2) 物件に他の装置、付属品等を付着させ、又は取り外し、若しくは取り替えること、その他物件の改造、性能、品質等に変更を加えること。

#### (業社への通知)

第10条 甲は、次の各号が定める事由が生じたときは、直ちに乙に書面で通知するものとする。

- (1) 物件に盗難、滅失、毀損等事故が発生したとき。
- (2) 物件にかかる乙の権利が第三者に侵害され、若しくは物件の設置されている土地、建物の所有権が移転され、又はそのおそれのあるとき。

#### (支払遅延利息)

第11条 甲の責に帰すべき事由により支払いが遅れた場合、乙は遅延日数に応じ、政府契約の支払遅延防止法等に関する法律第8条第1項の規定に基づいて告示された率で計算した額の遅延利息を甲に請求できるものとする。

#### (賃借権譲渡等の禁止)

第12条 甲は賃貸借物件について、賃貸借権の譲渡転貸、又は担保の用に供してはならない。

#### (再委託の禁止)

第13条 乙は、この契約の履行について、業務の全部または一部を第三者に委託又は代行させてはならない。ただし、あらかじめ甲の承諾を得て、業務の一部を委任する場合はこの限りではない。

#### (秘密の保持・個人情報等の取り扱い)

第14条 乙は、業務上知り得た情報は、個人情報保護の重要性を認識し正当な理由なく第三者に開示、提供及び漏洩してはならない。

- 2 乙は、沖縄県個人情報保護条例に違反した場合は、同条例の罰則の対象となる。また、同条の規定は本契約終了後も有効に存続する。
- 3 乙は、この契約による業務を実施するため個人情報を取り扱う場合は、別記「個人情報取り扱い特記事項」を遵守しなければならない。

#### (委託金額の変更等)

第15条 一般経済事情の変動等に基づく価格等の変動により作業用材料等に増減を生じて

も、当初の委託金額又は作業内容を変更することはできない。但し、最低賃金額の改定、予期することのできない異常な事情が発生したための経済情勢の激変等により委託金額が著しく不相当であると認められるに至った時は、甲、乙協議のうえ、委託金額又は作業内容を変更することができる。

#### (契約解除権)

第 16 条 甲乙いずれかの一方が、本契約の期間中に契約を解除しようとするときは、3ヶ月前に相手方に書面でもって通知するものとする。

2 本契約は、沖縄県長期継続契約を締結することができる契約を定める条例（平成 18 年 沖縄県条例第 56 号）に基づく長期継続契約のため、本契約の締結の日の属する年度の翌年度以降において、当該契約に係る歳入歳出予算の当該金額について減額、又は削除があった場合、甲は、本契約を解除できるものとする。

3 甲は、前項の場合において解除がなされた場合は、乙に対して協議の場を設けることとし、契約の解除に至った状況を説明する責めを帰すものとする。ただし、前項の場合においては、甲はこれによって生じた乙の損害についてその責務を負わない。

4 甲又は乙は、相手方が正当な理由なくして、この契約の条項に違反したときは、文書をもって通告し、直ちにこの契約を解除することができる。

#### (反社会勢力の排除)

第 17 条 甲は、乙が次の各号のいずれかに該当するときは、契約を解除することができる。

(1) 役員等（乙が個人である場合にはその者を、乙が法人である場合にはその役員又はその支店若しくは常時契約を締結する事務所の代表者をいう。以下同じ。）が暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号。以下「暴力団対策法」という。）第 2 条第 6 号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）であると認められるとき。

(2) 暴力団（暴力団対策法第 2 条第 2 号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）又は暴力団員が経営に実質的に関与していると認められるとき。

(3) 役員等が自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用したと認められるとき。

(4) 役員等が暴力団又は暴力団員に対して資金等を供給し、又は便宜を供与するなど、直接的又は積極的に暴力団の維持及び運営に協力し、又は関与していると認められるとき。

(5) 役員等が暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有していると認められるとき。

**(検 査)**

第 18 条 甲は、乙の状況について随時に検査し、若しくは、必要な報告を求め、又は委託業務に関して、乙に必要な指示を与えることができるものとする。

**(備品、工具及び消耗品等の負担)**

第 19 条 乙は、本契約における委託業務の実施に要する必要な備品、工具及び消耗品等について負担するものとする。

**(賠償責任)**

第 20 条 乙は、乙の委託業務の実施に起因し、次の各号の事項が生じたときは、責任をもってその費用負担並びに一切の処理解決にあたり、甲に迷惑及び損害をかけない。ただし、甲の責に帰すべき事由によって生じたときは、その費用は甲の負担とする。

- (1) 甲又は甲の職員あるいは第三者に損害を与えたとき。
- (2) 甲又は甲の職員あるいは第三者との間に紛議が生じたとき。
- (3) 乙の過失及び勤務怠慢により、甲の施設、機械等に損害を与えたとき。
- (4) 乙の従業員又はその関係者が死傷したとき。

**(費用の負担)**

第 21 条 本契約の締結に要する費用は乙の負担とする。

**(管轄裁判所)**

第 22 条 本契約の訴訟は、甲の所在地を管轄する裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とする。

**(法令遵守及び調査)**

第 23 条 乙は、労働基準法や最低賃金法等労働関係法を遵守しなければならない。

- 2 甲は委託契約の履行について必要があると認めるときは、乙に対して委託業務の処理状況について調査し、又は報告を求めることができる。
- 3 乙は、委託業務に係る経費について帳簿を備え、収入支出の額を記載したその出納を明らかにしておかなければならない。

**(協議事項)**

第 24 条 甲及び乙は、互いに協力し信義を守り、誠実に本契約を履行するものとし、本契約に定めのない事項については、法令その他商慣習に従うほか、甲乙協議のうえ定めるものとする。

この契約の締結の証として本書2通を作成し、甲乙記名押印のうえ、各自その1通を保有するものとする。

令和 年 月 日

沖縄県石垣市字真栄里 584 番地 1

甲 沖縄県立八重山病院  
院長 和氣 亨 印

乙

# 個人情報取扱特記事項

## （基本事項）

第1条 乙は、個人情報の保護の重要性を認識し、この契約による業務の実施に当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報の取扱いを適正に行わなければならない。

## （秘密の保持）

第2条 乙は、この契約による業務に関して知り得た個人情報をみだりに他に知らせてはならない。  
この契約が終了し、又は解除された後においても、同様とする。

## （収集の制限）

第3条 乙は、この契約による業務を行うために個人情報を収集するときは、業務の目的を達成するために必要な範囲内で適法かつ公正な手段により行わなければならない。

## （個人情報の目的外利用又は提供の禁止）

第4条 乙は、甲の指示がある場合を除き、この契約による業務に関して知り得た個人情報を契約の目的以外の目的のために利用し、又は甲の承諾なしに第三者に提供してはならない。

## （漏洩、毀損及び滅失の防止）

第5条 乙は、この契約による業務に関して知り得た個人情報については、沖縄県個人情報保護条例（平成17年沖縄県条例第2号）第11条第2項の規定に基づき、漏洩、滅失及び毀損の防止  
その他個人情報保護のための必要な措置を講じなければならない。

2 乙又は従事者は、その職務上知り得た個人情報をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならない。乙の指定期間が満了し、若しくは指定を取り消された後においても、同様とする。

3 前項の規定に違反した場合、乙又は従事者は沖縄県個人情報保護条例の規定に基づき罰則に課せられることがある。

## （資料等の返還）

第6条 乙は、この契約による業務を処理するために、甲から提供を受け、又は自ら収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等は、この契約終了後直ちに甲に返還し、又は引き渡すものとする。

## （複写又は複製の禁止）

第7条 乙は、この契約による業務を処理するため甲から引き渡された個人情報が記録された資料等を甲の承諾なしに複写又は複製してはならない

## （再委託の禁止）

第8条 乙は、甲が承諾した場合を除き、この契約による個人情報取扱業務については自ら行い、第三者にその取扱いを委託してはならない。

## （事故発生時における報告）

第9条 乙は、この契約に違反する事態が生じ、又は生じるおそれがあることを知ったときは、速やかに甲に報告し、甲の指示に従うものとする。